

目標達成計画

作成日: 令和 3年 1月13日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	18 26	全ての職員が同じ気持ちになり、考えを共有できていない。	日々の過ごし方等、全ての職員で共有し同じ方向を向いていきたい。	職員間で常に情報の共有に努める。 自分一人で抱え込まない。 様々な根拠を明確にする。 柔軟な発想と対応に心がける。 職員間で感謝の気持ち、褒める事を忘れない。	12ヶ月
2	2 3 20 29 64	以前より地域の文化祭等に参加したり、回覧を配布したりしているが、地域の方々ともっと気軽な普段からの交流が少ない。	地域の方に職員・利用者さんの名前を覚えてもらったり、グループホームへ様々な相談に来てもらえる場所にしたい。	職員個人個人の地域の活動に可能な限り参加する。その経験を活かし、GHがある地域活動への参加。 いつでも相談にのることができるよう勉強会・研修の参加や知っている情報の共有。 3つのグループホーム間での交流の機会を増やす。	12ヶ月
3	18 20 38 45 48 57	全てではないが、どうしても業務優先になってしまう事がある。	それぞれの利用者さんに役割を持っていただき、職員・利用者さん共に焦らずゆったりとした気持ちで1日を過ごす事ができるようにしたい。	業務の見直し。 利用者さんの今を大切にし、立場を変えて考えて行動してみる。 人員の確保の為に地域の間わりの中で話を	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。